

イチイ *Taxus cuspidata* Siebold et Zucc.

イチイ科 Taxaceae

1. 利用対象部位：樹皮

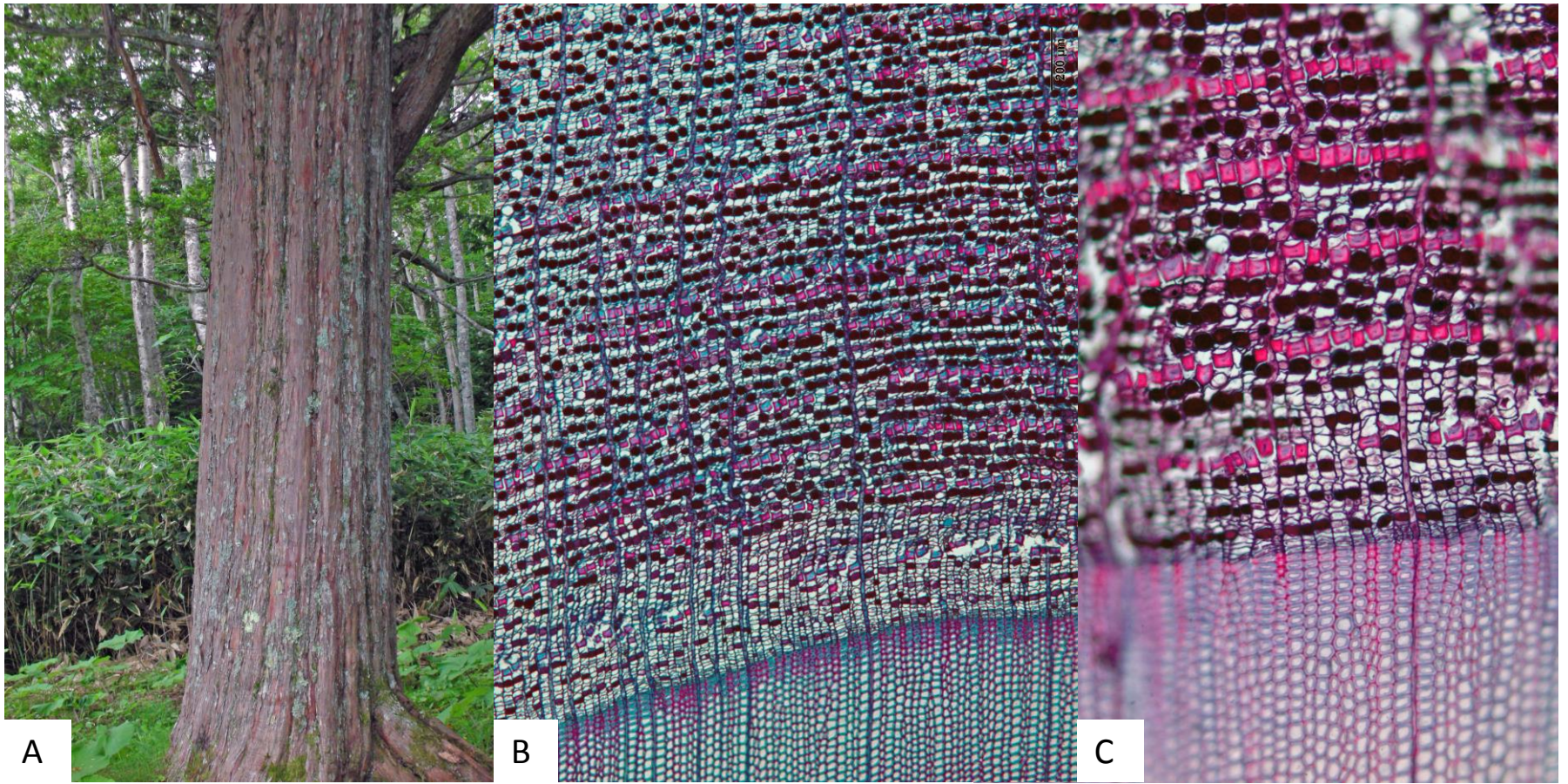
2. 組織形態：

樹皮は縦に浅い割れ目が入り、縦長の薄いテープ状にはげ落ちる。

内樹皮の基本構造は、それぞれ1細胞の厚さで柔細胞-篩細胞-繊維細胞-篩細胞-柔細胞の繰り返したが、繊維細胞になる細胞は必ずしも厚壁化せず、3回ほどの繰り返して1回繊維細胞層となる。繊維細胞は形成層から少し離れた位置から分化し、断面方形～長方形で細胞壁が厚い。

3. 利用例：なし

4. 遺跡出土遺物：なし



A

B

C

A:イチイの樹皮(北海道羅臼町)。 B&C:内樹皮の横断面とその拡大。画面下部に二次木部および形成層帯がある。黒紫色の細胞内容物があるのが柔細胞、細胞壁が青色～赤紫色で細胞内容物が無いのが篩細胞、赤色で断面長方形なのが繊維細胞。柔細胞-篩細胞-繊維細胞-篩細胞-柔細胞の順にそれぞれ1細胞層の厚さで形成されるが、繊維細胞層は3回に1回くらいしか厚壁化しない。樹皮の放射組織は単細胞幅。